

8111 ひと昔前に比べると、日本も・・・

ひと昔前に比べると、日本も外国でよく知られるようになったが、どうもこのごろの海外での日本のイメージは、「近代化」とか「物資的豊かさ」に片寄りすぎているように思う。むしろもっと積極的に宣伝すべきは、日本人自身が当たり前と思っている治安の良さ、とか階級のない、節度ある社会、というところではないか。

『朝日新聞—今日の問題』(8月4日)

[許容訳例]

Compared with ten or fifteen years ago, Japan has become well known in other countries, but I feel that the images of Japan these days is too much slanted toward modernization and material abundance. Rather, I feel, we should spread more positively knowledge of the law and order and the classless, moderate society that we Japanese take for granted.

[翻訳例]

Compared with a decade or so ago, knowledge about Japan has increased in other countries, yet I cannot help feeling that the images of Japan prevailing abroad at the moment over-emphasizes the modernization and material affluence aspect. Surely, it would be better to draw attention more positively to things that the Japanese themselves take for granted, such as safety in the streets and a society without class distinctions, based on moderation?

■ひと昔前に比べると、日本も外国でよく知られるようになったが、どうもこのごろの海外での日本のイメージは、「近代化」とか「物資的豊かさ」に片寄りすぎているように思う。88111)

★「ひと昔前」に相当する英語は残念ながらないのですが、一番自然な言い方としては a decade or so ago でしょう。辞書には a decade ago が出ていますが、or so を加えたい気分です。また an age ago も出ていますが、これは使い方が非常に限られています。たとえば、It seems an age ago. と言うと「ずいぶん昔のような気がする・遠い昔のような気がする」という意味になりますが、こういう場合しか使わないと思います。「ひと昔」をどうか感じているかで a long time ago も in former times も使えます。辞書によっては a short age ago がでていますが、こういう表現はありません。

★「・・・に比べると」は(as) compared with[to]…ですが、as を付けなければならぬ場合というのはほとんどありません。強いて言えば as…は文の途中とか文の後ろとかで使う場合に多いようです。

★「日本もよく知られるようになった」で know を使うならわざわざ has come to be well known とする必要はありません。has become well known ですが、しかし、この表現は「何かで有名になる」という意味なので、よく考えると、ここの日本語の意味とずれるように思われます。ここの「よく知られるようになった」というのは、後に続く説明と考え合わせると「日本についての情報が増えた」ということです。したがって knowledge about [of] Japan

has increased in…くらいでしょう。knowledge は抽象名詞なのですが、英語の抽象名詞は、全く抽象的な事にも、具体的事実の集合にも使います。むしろ後者の使い方の方が多いでしょう。

★「外国」はそのまま変換すると foreign countries ですが、other countries の方が英語らしくなります。

### ● [が]

連結辞 [が] は but に変換しますが、この [が] には、even though とか nevertheless とか in spite of のニュアンスがかなり強く入っているように感じられます。その場合には、とはつまり、sentence の前半と後半を対象的に置く場合には yet を使った方がいいと思われます。

★「どうも…のように思う」ですが、日本語の「思う」は feel に相当することが多く「どうも…のように思う」も I feel です。ただ「どうも…」を加えるとすると I cannot help feeling…が一番自然な英語になります。「どうも…という気がしてならない」という感じです。ところで、「どうも…のように思われる」を辞書で引くと have every reason to think that…が出てきますが、これは「今この場で言うのは遠慮しておくけど、そう思われる節がある」ということで、かなり具体的な理由がある場合に使うので、ここでは使わな方がいいでしょう。

★「このごろの」は these days とか nowadays; today's とかですが、at the moment (目下・今) も使えます。at this moment (今・現在) はちょっと瞬間的すぎます。

★「海外での日本のイメージ」は the image of Japan abroad でもいいですが、the image of Japan と abroad 関係がはっきりわからないことも考えられますから prevailing abroad とした方がいいかもしれません。

★「近代化」ですが、なぜ引用符で囲ってあるのでしょうか。たぶん強調と思うのですが、英語で引用符（“…”）を使うと、誰かが言った単語という意味になりますから、ここではそのまま modernization (近代化) でいいと思います。

★「物資的豊かさ」の引用符も同様です。material abundance (物質的豊かさ) です。

### ● [とか]

「近代化」とか「物資的豊かさ」の [とか] は「A あるいは B」(or) という選択の問題ではないので and で結んでいいと思われます。

★「片寄りすぎている」は「ある一面が強調されすぎている」ということですから、ここは over-emphasizes the modernization and material abundance aspect とすればいいと思います。aspect を使わないなら is too much slanted [has become too much slanted] toward the modernization and material abundance でしょう。辞書には「片寄る」に lean toward とか be partial to が出ています。lean toward は使えますが、be partial to は、どちらかと言うと個人の気持ちを言う場合に使うことが多いので、ここでは使わない方がいいでしょう。

■むしろもっと積極的に宣伝すべきは、日本人自身が当たり前と思っている治安の良さ、と

か階級のない、節度ある社会、というところではないか。(8111)

◆surely の使い方(certainly; I am sure など)

「むしろ・・・」で始まるこの文は、簡単になると「むしろ・・・すべきではないか」です。この内容の表し方は二つあります。一つは「むしろ(rather)・・・すべき(we should...)ではないか(と思う)(I feel)という組み合わせです。もう一つは Surely, it would be better...? です。この surely は、たとえば、"He came the day before yesterday." と言われて「え、昨日じゃないか?」と相手の言ったことを確かめるために使うもので、平叙文でありながら実質は疑問文なので、平叙文の語順で文尾に? を付けて、"Surely, he came yesterday?" のように使います。(なお、自分の意見を強く出し、断言するような感じで使われる certainly には、この使い方はありません。) ついでながら、この surely は I am sure とも違います。たとえば、I am sure I put it here. は「確かにここに置いたんだけど」という意味です。Surely, I put it here. は「だって、ここに置いたでしょう(あなたも知っているでしょう)」という意味になります。

★「もっと積極的に」は more positively でしょう。

★「宣伝する」を辞書で引くと propagate; advertise などが出ていますが、propagate は「何かの教えを広める・普及させる」という意味ですから「治安の良さ」とか「節度ある社会」には使えません。また advertise は「何か目的(たとえば、売るため)に宣伝する」ですから、ここでは使えません。ここでは「日本は・・・な国であるということを知らしめる」とか「日本の・・・なことに関心を引かせる」とかの意味ですから spread knowledge of... とか draw attention to... とかにしなければなりません。

●「連体修飾節+不定代名詞的体言」(日本人自身が当たり前と思っている・・・)

「日本人自身が当たり前と思っている・・・というところ」は things that the Japanese themselves take for granted ですが、「・・・というところ」を省いて「日本人自身が当たり前と思っている A とか B」とすると A and B that the Japanese take for granted となります。なお、take for granted は「感謝する必要を感じないくらい慣れていて、当たり前と思っている」ということです。consider something only natural も「当たり前と思う」ですが、これは「道徳的に見て、あるいは誰かの義務として当然そういうことになるだろう(当然すべきだ)と思う」ということですから、ここでは使えません。

★「治安の良さ」をそのまま変換して the goodness of public peace などと言うことはできません。goodness は、使うとしたら、まず道徳的な良さです。たとえば、his goodness というと「道徳的に見て彼は非常にしっかりとして性格の人」ということです。また、次は自然の良さです。たとえば、breakfast cereal の箱などに the goodness of whole wheat とか出ていますが、これは自然の良さ、つまり栄養的にいいものだという意味で使われているのです。いずれにしても、ここでは goodness は使えません。high level of public peace でしょうか。ところで「治安」ですが、確かに辞書には public peace [order] と出ていますが、public peace は「大は暴動で、小は酔っ払って道で騒ぐ事もない」という意味であり、public order は「暴

動なんかない」と言うことを強調した言葉です。ここで言っているのは「安心して道を歩ける」ということを言っているのですから、ちょっと違うと思います。ここでは the law and order か、あるいは「治安がいい悪い」によく使われる的是 safe で、新聞などによく使われる safety in the streets を使ってもいいと思います。

★「階級のない、節度ある社会」は、そのまま変換すると the classless, moderate society です。これでも意味は通じますが、これではどういう風に moderate なのかはっきりしないのです。したがって、a society without class distinction, based on [founded in] moderation とすると、意味が非常にはっきりすると思います。